

氏名	ちぢいわまさつぐ 千知岩正継	職名	准教授	就任年月	2022年（令和4年）4月
【学歴】	<p>1998年3月 鹿児島大学法文学部法学科 卒業 2000年4月 神戸大学大学院国際協力研究科国際協力政策専攻 博士課程前期 修了 2006年3月 九州大学大学院比較社会文化学府国際社会文化専攻 博士後期課程 単位取得退学</p>				
【取得学位】	<p>修士（法学）</p>				
【職歴】	<p>2006年10月～2007年3月 九州大学高等教育開発推進センター、特任助手 2007年～2021年 北九州市立大学、非常勤講師 2016年～2017年 長崎県立大学、非常勤講師 2019年 九州大学、非常勤講師 2019年～2021年 立命館アジア太平洋大学、非常勤講師 など</p>				
【専門分野】	<p>国際関係論 国際機構論 政治学</p>				
【研究課題】	<p>軍事介入 保護する責任 英国学派の国際関係理論</p>				
【担当科目】	<p>現代社会と政治A、B 政治学 政治史 国際関係論</p>				
【学会・社会活動】	<p>日本国際政治学会 グローバル・ガバナンス学会 日本国際連合学会 東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会、執行委員</p>				

【主な研究業績】

区分 (単・共別)	著書・論文名等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
著書 (共)	カナダー R2P の「助産師」から「改良主義的実践者」へ	西海洋志、中内政貴、中村長史、小松志朗 [編] 『地域から読み解く「保護する責任」ー普遍的な理念の多様な実践に向けて』 聖学院大学出版会	2023年3月
著書 (共)	対テロ戦争ー終わりが遠ざかる戦争ー (共著者: 大庭弘継)	高橋良輔、大庭弘継 [編] 『国際政治のモラル・アポリアー戦争/平和と揺らぐ倫理ー』 ナカニシヤ出版	2014年5月
著書 (共)	国際社会におけるアナーキーとハイアラキー	佐藤誠、大中真、池田丈佑 [編] 『英国学派の国際関係論』 日本経済評論社	2013年10月
著書 (共)	グローバル社会における国連の秩序構築ー安保理の権威と正当性の問題を中心に	松井康浩 [編] 『グローバル秩序という視点ー規範・歴史・地域ー』 法律文化社	2009年4月
学術論文 (単)	「保護する責任」を司るグローバル権威の正当性ー国連安保理と民主主義国協調ー	『国際政治』第171号、日本国際政治学会	2013年1月
学術論文 (単)	リビア紛争に対する保護する責任 (R2P) の適用?	『社会と倫理』第27号、南山大学社会倫理研究所	2012年10月
学術論文 (単)	「保護する責任」の意義と課題ー正当性と権威の概念を手がかりにー	『社会と倫理』第22号、南山大学社会倫理研究所	2008年8月
学術論文 (単)	人道的介入論の最近の動向とその課題ー「介入する権利」から「保護する責任」へー	『政治研究』第51号、九州大学政治研究会	2004年3月
翻訳 (共)	C.H. アレクサンドロヴィッチ [著] (デイヴィッド・アーミテイジ、ジェニファー・ピッツ [編]) 『グローバル・ヒストリーと国際法』	日本経済評論社	2020年12月
翻訳 (共)	バリー・ブザン『英国学派入門』	日本経済評論社	2017年5月
翻訳 (共)	リチャード・シャプコット『国際倫理学』	岩波書店	2012年9月
その他 (単)	(書評) 佐藤史郎『核と被爆者の国際政治学ー核兵器の非人道性と安全保障のはざままで』	『グローバル・ガバナンス』第9号、グローバル・ガバナンス学会	2023年3月
その他 (単)	(書評) 本多美樹『国連による経済制裁と人道上の諸問題ー「スマート・サンクション」の模索ー』	『国際政治』第178号、日本国際政治学会	2014年11月
その他 (共)	資料で読み解く保護する責任ー関連文書の抄訳と解説ー	大阪大学出版会、電子書籍	2017年11月
その他 (共)	<i>What Constitutes the 'Rightful' Authority' and on What Grounds? The United Nations Security Council versus a Concert of Democracies</i>	<i>Global Ethics after the Responsibility to Protect : Challenges and Dilemmas</i> 南山大学社会倫理研究所	2013年2月